

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	本校教育目標のキーワードの1つである「高い志」を持てるような学びの機会を設定し、その中で自ら考え判断し行動できる資質を育みながら学びへの意欲を刺激し、高い学力を育てる教育活動を行った。いじめへの対応については、その都度チーム体制で適切な指導を行うことができた。また、さまざまな要因により登校に支障を来す生徒への対応に課題が残った。「開かれた学校づくり」に向けて、HPの更新を滞りがないよう計画的に行う点については、学校評議員や保護者からも高い評価を得ることができ、学校教育活動の広報を効果的に行った。中高一貫教育校として、武雄高等学校と密接な連携を図りながら、高い志をもち自ら学びへと向かう姿勢を有する生徒を育成することを続けていきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	高い志と未来を切り拓く力をもち、地域や国際社会の発展に貢献できる、人間性豊かな人材を育成する。
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領への対応を進める中で、中高6年間の学習指導計画の更新と授業研究を行うことにより教科指導の充実と生徒のさらなる学力向上を目指す。 ・中高一貫校として、魅力と成長の実感を得られる学校風土の醸成、及び社会貢献への意識向上に努める。 ・現在の校則について、「よりよい市民社会の構成員育成」の観点をもとに、生徒、保護者等の意見を取り入れながら見直しを行う。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○「基礎学力」の定着とともに「学び方の基礎基本」を身につけさせる。 ○生徒が自ら考え、主体的な学習ができるようにする。	○学校評価アンケートにおいて、「授業内容がわかる」と回答した生徒が85%以上 ○学校評価アンケートにおいて、「授業が楽しい」と回答した生徒が85%以上	・個別学習、グループワーク、アクティブラーニング等を通じて、多様な生徒の能力を引き出す努力をする。 ・思考力、判断力、表現力を育む発問や課題を取り入れる。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・「ふれあい道徳」を通じて生徒・保護者の人権意識を高めると同時に、教職員の授業づくりに関する校内研修等を実施する。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○学校評価アンケートにおいて、いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した職員が100% ◎学校評価アンケートにおいて、「将来的な夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした中学3年生が80%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 ・中高交流等の体験学習や、教科横断的な授業を通じて、目標設定の手助けをする。 ・さまざまな講演等を通じて、ハイレベルな学問にふれる機会をつくる。							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻の3点固定の定着 ○朝食をとって登校する生徒95%以上	・SDノートを活用し生徒の生活実態を把握するとともに、しっかりと学習習慣を身につけさせる。 ・「食育だより」を発行し、朝食の大切さを呼びかけると同時に、保護者の協力をお願いする。							
	○安全に関する資質・能力の育成	○生徒の防災意識を高めるとともに、自然災害に対する具体的な備えを行う。	・PTAと連携をとりながら、生徒、教職員分の備蓄食糧の整備、宿泊に備えての毛布、マット等の準備を進める。 ・毎月安全点検を行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定							
	○保護者・地域との連携強化	○ICTの活用による業務改善 ○開かれた学校づくり	・メール配信機能の充実による保護者との連携強化 ・学校ホームページの活用による情報提供と広報活動の充実							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○新学習指導要領への対応	○新学習指導要領の研究	○全教職員が新学習指導要領の内容を理解し、把握する。	・中高連携の実践の中で、新学習指導要領での6年間の指導計画を作成する。 ・全教職員が年2回以上公開授業を行う。							
○生徒が行きたいと思う学校づくり	○魅力ある学校行事等の企画・実践	○学校評価アンケートにおいて、「充実した学校生活を送れた」と答える生徒が80%以上	・職員間の情報共有、共通理解を確実に行う。 ・学校での生徒の居場所づくりをしっかりと行う。							
○校則の見直し	○生徒自身が現在の校則について考え、意見交換をする場を設ける。	○生徒の現状に合った校則のあり方を考え、よりよき方向に見直しをする。	・生徒に社会規範の変更の実際を体験させることにより、社会における責任の重さを理解させる。 ・保護者の意見を積極的に取り入れる。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------